

国有林材の安定供給システム販売協定予定者の公表

平成 30 年 9 月 7 日

関東森林管理局長

平成30年7月25日付け公募した、平成30年度の国有林材の安定供給システム販売(第3次公募)の協定予定者を下記のとおり公表します。

物件番号	森林管理署等	樹種	協定数量 (m3)	応募者数	協定予定者	提案内容の概要
3-01	磐城	スギ	1,500	1	協同組合いわき材加工センター	各組合員の大径材、小径材、柱材、短尺材のニーズに対応し、原木を山元から直接供給することにより原木の生産・流通にかかるコストの縮減を図る。
3-02	白河 南大須賀林業	スギ・ヒノキ スギ・ヒノキ	3,170 600	3	協和木材 株式会社	外材イメージが強い集成材や2×4(ツーバイフォー)材に国産材(スギ)を使用して安定的な受注を確保することにより、国産材の新規需要の開拓を図る。
3-03	白河 南大須賀林業	低質材N、L 低質材N、L	3,710 400	2	株式会社 トーセン	製材工場とバイオマス発電所及び熱利用施設を組み合わせることで、森林資源の有効利用を図る。
3-04	棚倉	スギ・ヒノキ	8,000	3	協和木材 株式会社	外材イメージが強い集成材や2×4(ツーバイフォー)材に国産材(スギ)を使用して安定的な受注を確保することにより、国産材の新規需要の開拓を図る。
3-05	棚倉	低質材N、L	8,000	3	株式会社 トーセン	製材工場とバイオマス発電所及び熱利用施設を組み合わせることで、森林資源の有効利用を図る。
3-06	群馬	低質材N、L	2,500	4	広和林業株式会社	原木加工過程で発生する樹皮や木粉を乾燥ボイラーの燃料用や家畜の敷料として販売することにより、森林資源の有効利用を図る。